

4. A/C スイッチの点検

1. A/C スイッチを押し、A/C スイッチの表示灯が点灯し、コンプレッサーが作動することを音と目視で点検する。
2. 再度 A/C スイッチを押し、コンプレッサーが停止することを確認する。

点検結果

- OK 5へ
- NG マグネットクラッチ系統異常：[「マグネットクラッチ系統」\(ATC-46 ページ\)](#) を参照。

5. 設定温度を下げたときの点検

1. コンプレッサーを作動させる。
2. 温度調節スイッチ (ダウン：) を操作し、18°C まで設定温度を下げる。
3. 吹出口から冷たい風が吹き出してくることを確認する。

点検結果

- OK 6へ
- NG エアミックスドア系統異常：[「エアミックスドアアクチュエーター系統」\(ATC-45 ページ\)](#) を参照。

6. 設定温度を上げたときの点検

1. エンジン暖機後、温度調節スイッチ (アップ：) を操作し、32°C まで設定温度を上げる。
2. 吹出口から暖かい風が吹き出してくることを確認する。

点検結果

- OK 7へ
- NG エアミックスドア系統異常：[「エアミックスドアアクチュエーター系統」\(ATC-45 ページ\)](#) を参照。

7. オートモードの点検

1. AUTO スイッチを押し、ディスプレイに“AUTO”が表示されることを確認する。
2. 温度調節スイッチを操作し、ファンスピードや吹出口が変化することを確認する (吹出風温度やファンスピードは、外気温度や車室内温度により異なる)。

点検結果

- OK 全ての機能点検が正常 (現象が再現しない) 場合は、[「現象別故障診断早見表」\(ATC-13 ページ\)](#) を参照し、対応した故障診断を行う。
- NG [「現象別故障診断早見表」\(ATC-13 ページ\)](#) を参照し、対応した故障診断を行う。

A

B

C

D

E

F

G

H

I

ATC

K

L

エアコンシステム

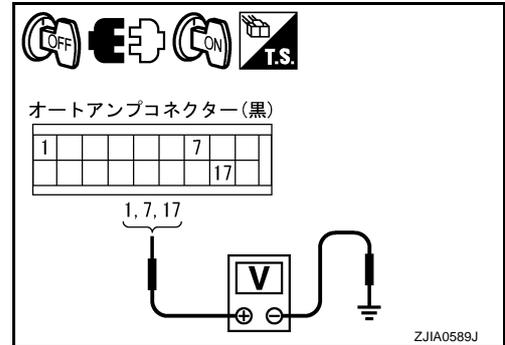
JJS004K0

現象：エアコンが作動しない、又はエアコンの操作を受け付けない。

1. オートアンプの電源回路点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクター (黒) を外す。
3. オートアンプ車両側ハーネスコネクター 1、7、17 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

測定端子		キースイッチ	電圧
(+)	(-)		
1	ボディーアース	OFF	電源電圧
7		ON	
17		ON	



点検結果

OK 2 へ

NG 下記項目を点検し、不具合箇所を修理又は交換する。ヒューズが溶断していた場合は、溶断の原因部位を修復後、ヒューズを交換する。

- ヒューズ 10 A (#2、#14、#16) ~ オートアンプ間ハーネス及びコネクター
- ヒューズ 10 A (#2、#14、#16)

注意： ヒューズ位置は、「PG 電源・アース・回路構成部品」の「端子配列」(PG-17 ページ) を参照。

2. オートアンプのアース回路点検

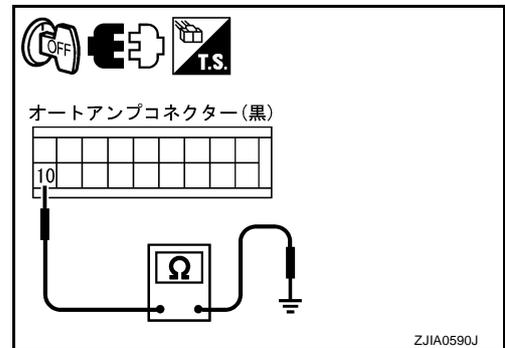
1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプ車両側ハーネスコネクター 10 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

10 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果

OK オートアンプを交換する。

NG ハーネス又はコネクターを修理する。



外気センサー系統

JJS004K1

現象：外気センサー回路の断線又は短絡。

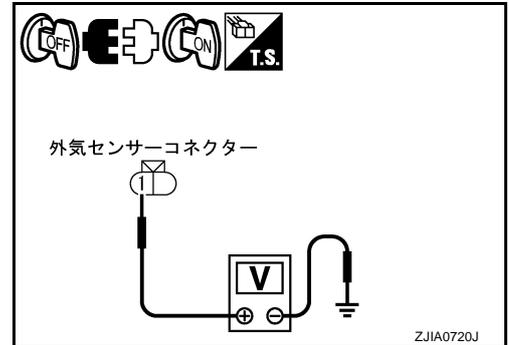
1. 電源回路点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. 外気センサーのコネクターを外す。
3. キースイッチを ON にする。
4. 外気センサー車両側ハーネスコネクター1番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

1～ボディーアース : 約 5 V

点検結果

OK 2 へ
NG 4 へ



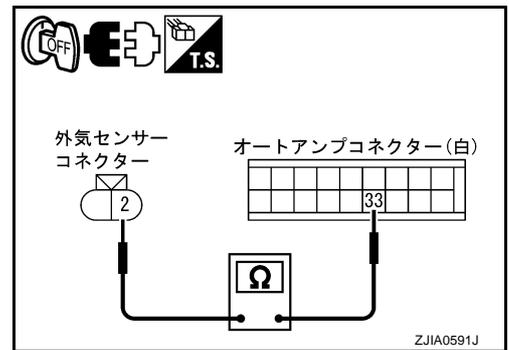
2. 回路導通点検 1

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクター (白) を外す。
3. 外気センサー車両側ハーネスコネクター2番端子～オートアンプ車両側ハーネスコネクター 33番端子間の導通を点検する。

2～33 : 導通あり

点検結果

OK 3 へ
NG ハーネス又はコネクターを修理する。

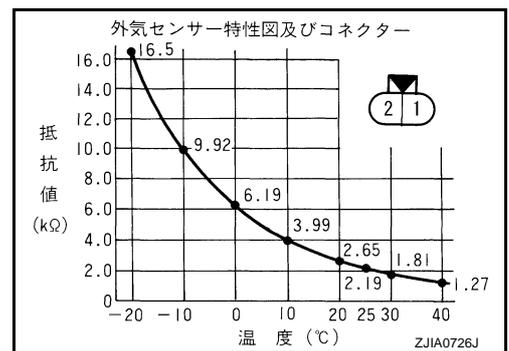


3. 外気センサーの点検

外気センサーコネクター 1～2番端子間の抵抗値を点検する。

点検結果

- | | |
|----|--|
| OK | <ol style="list-style-type: none"> 1. オートアンプを交換する。 2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。「自己診断機能」(ATC-25 ページ) を参照。 |
| NG | <ol style="list-style-type: none"> 1. 外気センサーを交換する。 2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。「自己診断機能」(ATC-25 ページ) を参照。 |



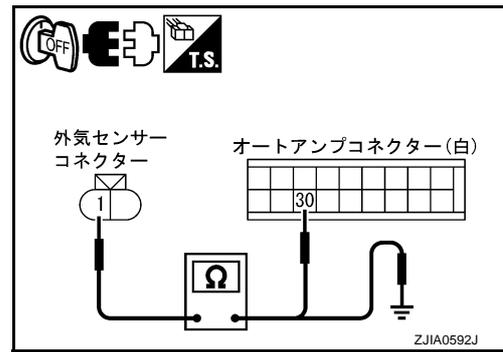
4. 回路導通点検 2

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクター (白) を外す。
3. 外気センサー車両側ハーネスコネクター1番端子 ~ オートアンプ車両側ハーネスコネクター 30 番端子間の導通を点検する。

1 ~ 30 : 導通あり

4. 外気センサー車両側ハーネスコネクター1番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

1 ~ ボディーアース : 導通なし



点検結果

- OK 1. オートアンプを交換する。
2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。「[自己診断機能](#)」(ATC-25 ページ) を参照。
- NG ハーネス又はコネクターを修理する。

内気センサー系統

JJS004K2

現象：内気センサー回路の断線又は短絡。

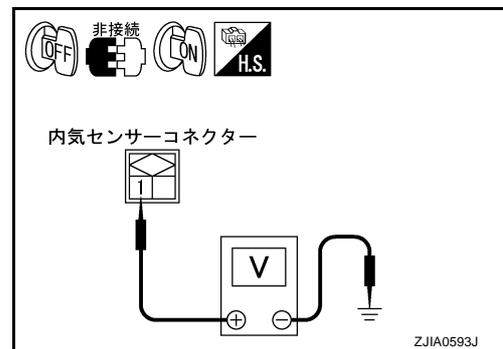
1. 電源回路点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. 内気センサーのコネクターを外す。
3. キースイッチを ON にする。
4. 内気センサー車両側ハーネスコネクター1番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

1 ~ ボディーアース : 約 5 V

点検結果

- OK 2 へ
- NG 4 へ



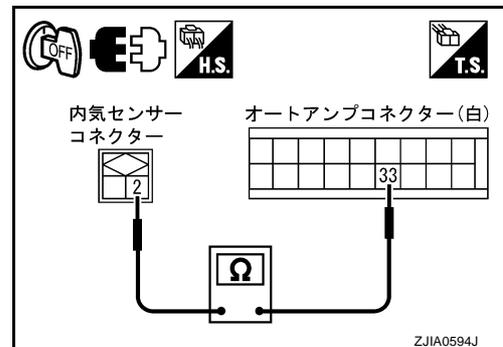
2. 回路導通点検 1

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクター (白) を外す。
3. 内気センサー車両側ハーネスコネクター2番端子 ~ オートアンプ車両側ハーネスコネクター 33 番端子間の導通を点検する。

2 ~ 33 : 導通あり

点検結果

- OK 3 へ
- NG ハーネス又はコネクターを修理する。

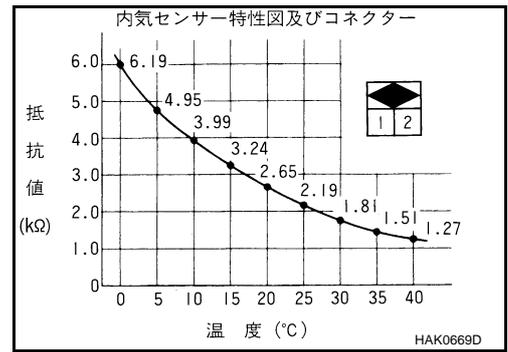


3. 内気センサーの点検

内気センサーコネクタ 1 ~ 2 番端子間の抵抗値を点検する。

点検結果

- OK 1. オートアンプを交換する。
2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。「[自己診断機能](#)」(ATC-25ページ) を参照。
- NG 1. 内気センサーを交換する。
2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。「[自己診断機能](#)」(ATC-25ページ) を参照。



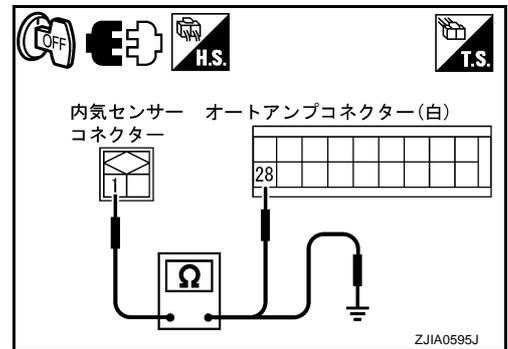
4. 回路導通点検 2

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクタ (白) を外す。
3. 内気センサー車両側ハーネスコネクタ 1 番端子 ~ オートアンプ車両側ハーネスコネクタ 28 番端子間の導通を点検する。

1 ~ 28 : 導通あり

4. 内気センサー車両側ハーネスコネクタ 1 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

1 ~ ボディーアース : 導通なし



点検結果

- OK 1. オートアンプを交換する。
2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。「[自己診断機能](#)」(ATC-25ページ) を参照。
- NG ハーネス又はコネクタを修理する。

日射センサー系統

JJS004K3

現象：日射センサー回路の断線又は短絡。

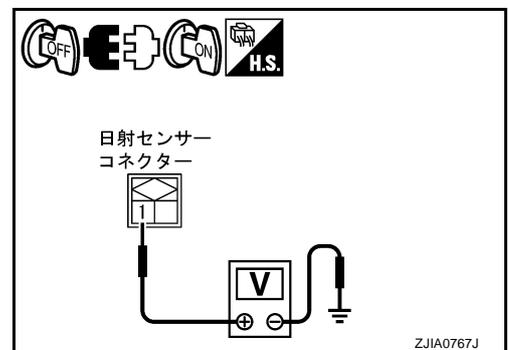
1. 電源回路点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. 日射センサーのコネクタを外す。
3. キースイッチを ON にする。
4. 日射センサー車両側ハーネスコネクタ 1 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

1 ~ ボディーアース : 約 5 V

点検結果

- OK 2 へ
- NG 4 へ



A
B
C
D
E
F
G
H
I
ATC
K
L

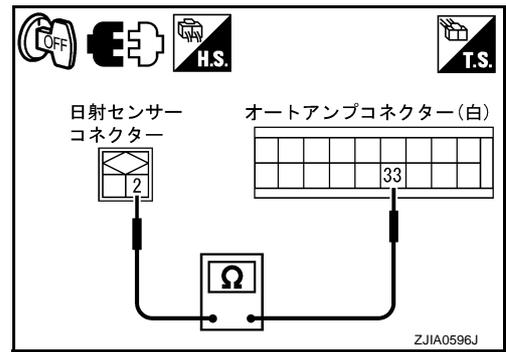
2. 回路導通点検 1

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクター (白) を外す。
3. 日射センサー車両側ハーネスコネクター2番端子 ~ オートアンプ車両側ハーネスコネクター 33 番端子間の導通を点検する。

2 ~ 33 : 導通あり

点検結果

- OK 3へ
- NG ハーネス又はコネクターを修理する。



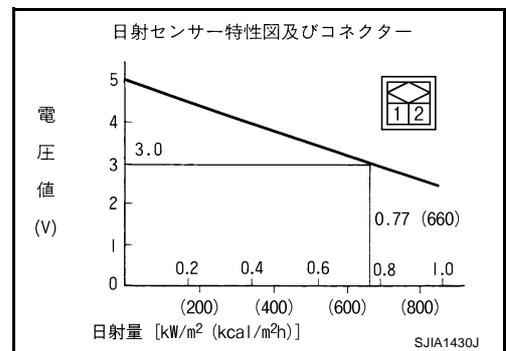
3. 日射センサーの点検

1. 日射センサー及びオートアンプのコネクターを接続する。
2. キースイッチを ON にする。
3. 日射センサー車両側ハーネスコネクター2番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

- 参考: • 屋内の場合には 60 W 程度の電灯を近づけたり、離したりして電圧を点検する。
- 晴天下の直射日光による日射量は、約 0.77 kW/m² (660 kcal/m² · h) に相当する。

点検結果

- OK
1. オートアンプを交換する。
 2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。[「自己診断機能」\(ATC-25 ページ\)](#) を参照。
- NG
1. 日射センサーを交換する。
 2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。[「自己診断機能」\(ATC-25 ページ\)](#) を参照。



4. 回路導通点検 2

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクター (白) を外す。
3. 日射センサー車両側ハーネスコネクター1番端子 ~ オートアンプ車両側ハーネスコネクター 31 番端子間の導通を点検する。

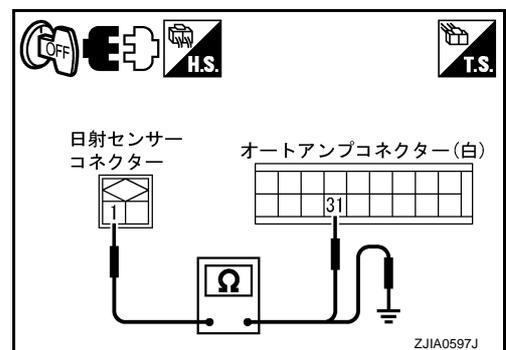
1 ~ 31 : 導通あり

4. 日射センサー車両側ハーネスコネクター1番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

1 ~ ボディーアース : 導通なし

点検結果

- OK
1. オートアンプを交換する。
 2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。[「自己診断機能」\(ATC-25 ページ\)](#) を参照。
- NG ハーネス又はコネクターを修理する。



吸込温度センサー系統

JJS004K4

現象：吸込温度センサー回路の断線又は短絡。

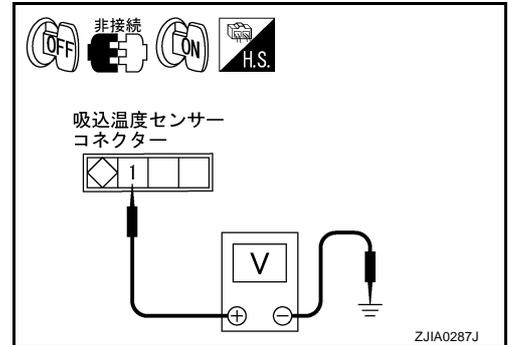
1. 電源回路点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. 吸込温度センサーのコネクターを外す。
3. キースイッチを ON にする。
4. 吸込温度センサー車両側ハーネスコネクター1番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

1～ボディーアース : 約 5 V

点検結果

- OK 2 へ
- NG 4 へ



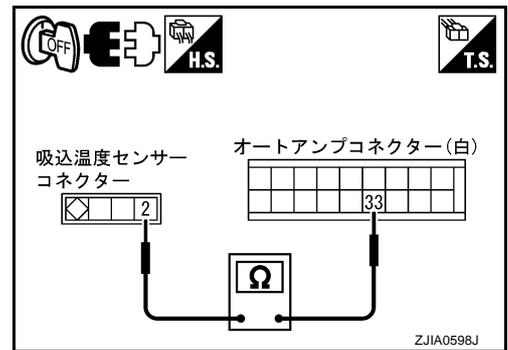
2. 回路導通点検 1

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクター (白) を外す。
3. 吸込温度センサー車両側ハーネスコネクター2番端子～オートアンプ車両側ハーネスコネクター 33 番端子間の導通を点検する。

2～33 : 導通あり

点検結果

- OK 3 へ
- NG ハーネス又はコネクターを修理する。

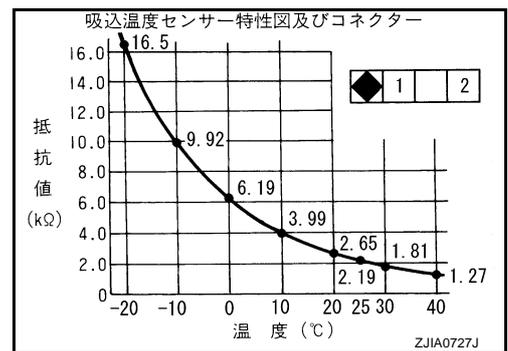


3. 吸込温度センサーの点検

吸込温度センサーコネクター 1～2 番端子間の抵抗値を点検する。

点検結果

- OK
 1. オートアンプを交換する。
 2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。「自己診断機能」(ATC-25 ページ) を参照。
- NG
 1. 吸込温度センサーを交換する。
 2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。「自己診断機能」(ATC-25 ページ) を参照。



A
B
C
D
E
F
G
H
I
K
L

ATC

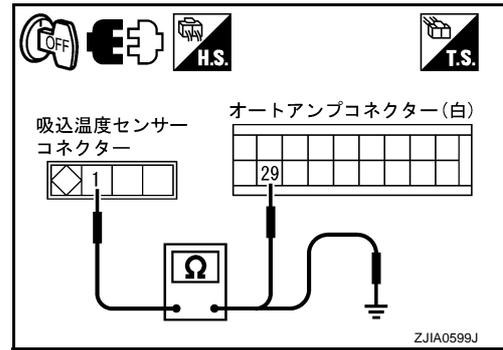
4. 回路導通点検 2

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクター (白) を外す。
3. 吸込温度センサー車両側ハーネスコネクター1番端子 ~ オートアンプ車両側ハーネスコネクター 29 番端子間の導通を点検する。

1 ~ 29 : 導通あり

4. 吸込温度センサー車両側ハーネスコネクター1番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

1 ~ ボディーアース : 導通なし



点検結果

- OK 1. オートアンプを交換する。
 2. 自己診断のステップ 2 を行い、正常であることを確認する。[「自己診断機能」\(ATC-25 ページ\)](#) を参照。
- NG ハーネス又はコネクターを修理する。

水温信号系統

JJS004K5

現象：低水温起動風量制御が解除されない、又は低水温起動風量制御にならない。

点検要領

1. コンビネーションメーター機能点検

コンビネーションメーター内の低水温表示灯及び高水温警告灯は正常に作動していることを点検する。

点検結果

- OK 2 へ
- NG 「DI ドライバーインフォメーションシステム」の[「水温信号系統」\(DI-26 ページ\)](#) へ。

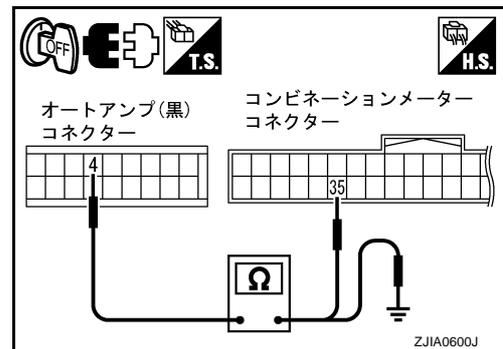
2. 回路導通点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクター (黒) を外す。
3. コンビネーションメーターのコネクターを外す。
4. オートアンプ車両側ハーネスコネクター 4 番端子 ~ コンビネーションメーター車両側ハーネスコネクター 35 番端子間の導通を点検する。

4 ~ 35 : 導通あり

5. オートアンプ車両側ハーネスコネクター4番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

4 ~ ボディーアース : 導通なし

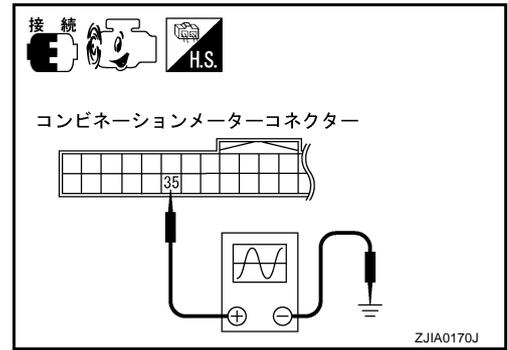
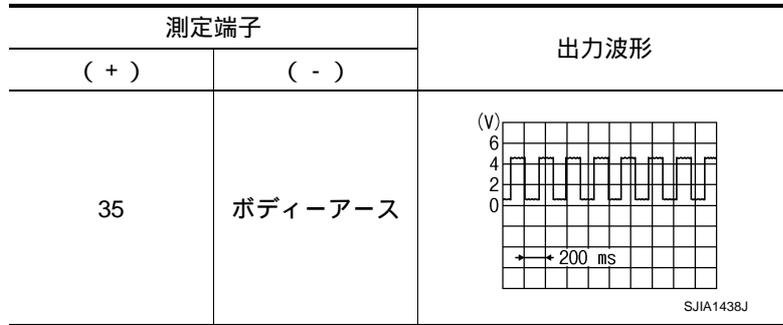


点検結果

- OK 3 へ
- NG ハーネス及びコネクターを修理する。

3. 水温信号点検

1. オートアンプのコネクターを接続する。
2. エンジンを始動する。
3. エンジン暖機後のコンビネーションメーター車両側ハーネスコネクター 35 番端子 ~ ボディーアース間の出力波形をオシロスコープで点検する。



アイドル時 (エンジン暖機後、約 80°C)

参考: 水温により波形は異なる。

点検結果

- OK オートアンプを交換する。
- NG コンビネーションメーターを交換する。

ブローファンモーター系統

JJS004K6

現象: ブローファンモーターの作動が異常

1. 電源回路点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. ブローファンモーターのコネクターを外す。
3. キースイッチを ON にする。
4. ブローファンモーター車両側ハーネスコネクター 1 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

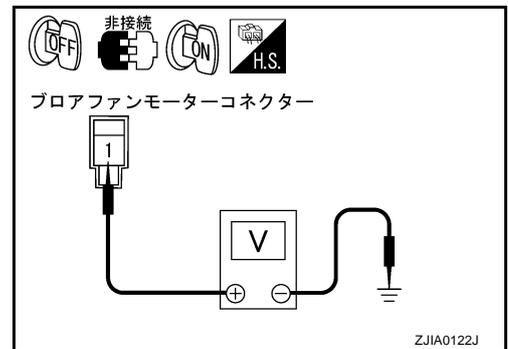
1 ~ ボディーアース : 電源電圧

点検結果

- OK 2 へ
- NG 下記項目を点検し、不具合箇所を修理又は交換する。ヒューズが溶断していた場合は、溶断の原因部位を修復後、ヒューズを交換する。

- ヒューズ 15 A (#15、#17) ~ ブローファンモーター間ハーネス及びコネクター。
- ヒューズ 15 A (#15、#17)

注意: ヒューズ位置は、「PG 電源・アース・回路構成部品」の「端子配列」(PG-17 ページ) を参照。



A
B
C
D
E
F
G
H
I
ATC
K
L

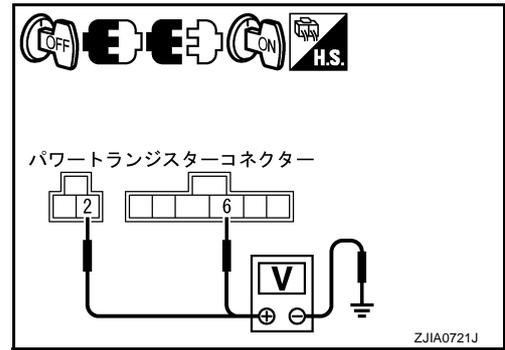
2. 電源回路点検（パワートランジスター）

1. キースイッチを OFF にする。
2. プロアファンモーターのコネクターを接続する。
3. パワートランジスターのコネクターを外す。
4. キースイッチを ON にする。
5. パワートランジスター車両側ハーネスコネクター 2、6 番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

2、6～ボディーアース : 電源電圧

点検結果

- | | |
|----|---|
| OK | 3へ |
| NG | <ul style="list-style-type: none"> • 2～ボディーアース間：ハーネス又はコネクターを修理する。 • 6～ボディーアース間：6へ |



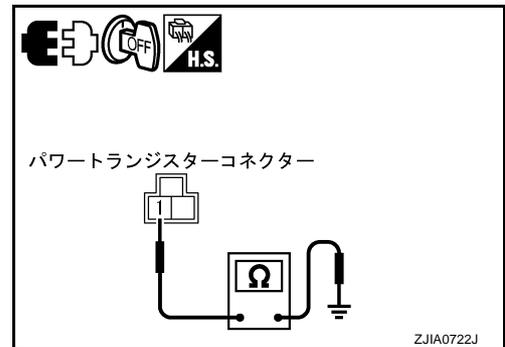
3. アース回路点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. パワートランジスター車両側ハーネスコネクター 1 番端子～ボディーアース間の導通を点検する。

1～ボディーアース : 導通あり

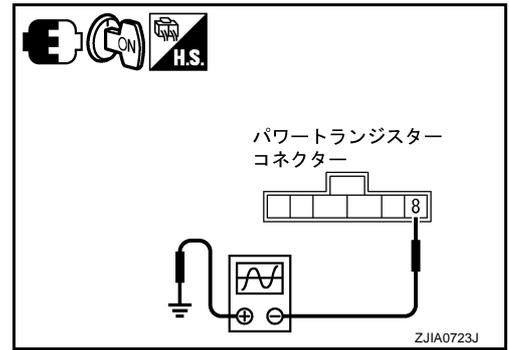
点検結果

- | | |
|----|-------------------|
| OK | 4へ |
| NG | ハーネス又はコネクターを修理する。 |



4. パワートランジスタ制御信号の点検 1

1. オートアンプのコネクター (黒) を接続する。
2. パワートランジスタのコネクターを接続する。
3. キースイッチを ON にする。
4. モードスイッチを操作し、VENT 位置に切り換える。
5. ファンスピードを 1 ~ 4 速に操作したときのパワートランジスタ車両側ハーネスコネクター8番端子 ~ ボディーアース間の出力波形をオシロスコープで点検する。



ファンスピード	1速	2速	3速	4速
8番端子 (オシロスコープ)				
	T1 : 約0.13 ms デューティ比 : 約26%	T2 : 約0.21 ms デューティ比 : 約42%	T3 : 約0.31 ms デューティ比 : 約62%	T4 : 約0.44 ms デューティ比 : 約88%

参考：デューティ比 = $\frac{T_x}{\text{約}0.5 \text{ ms}} \times 100 (\%)$

ZJIA1042J

点検結果

- OK 5へ
- NG
- ファンスピードが4速に固定されている : 7へ
 - ファンスピードが1速に固定されている : 8へ

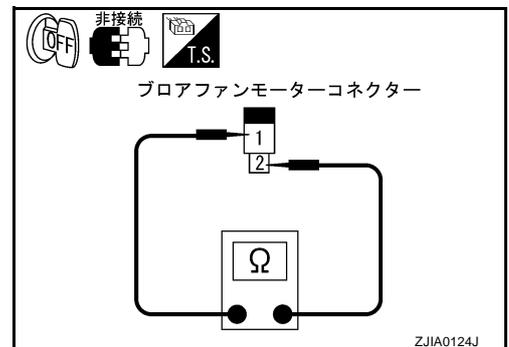
5. ブロアファンモーターの点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. ブロアファンモーターを取り外す。
3. ブロアファンモーターコネクター1 ~ 2番端子間の導通を点検する。

1 ~ 2 : 導通あり

点検結果

- OK 6へ
- NG ブロアファンモーターを交換する。



ZJIA0124J

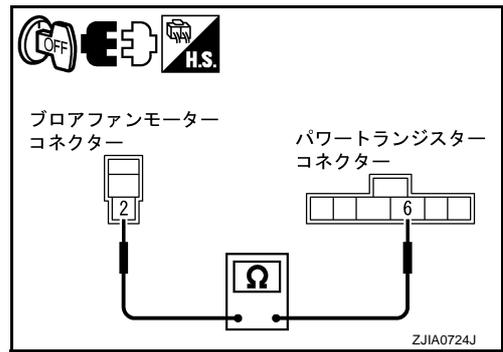
6. 回路導通点検 1

プロアファンモーター車両側ハーネスコネクタ 2 番端子 ~ パワートランジスタ車両側ハーネスコネクタ 6 番端子間の導通を点検する。

2 ~ 6 : 導通あり

点検結果

OK 7へ
NG ハーネス又はコネクタを修理する。



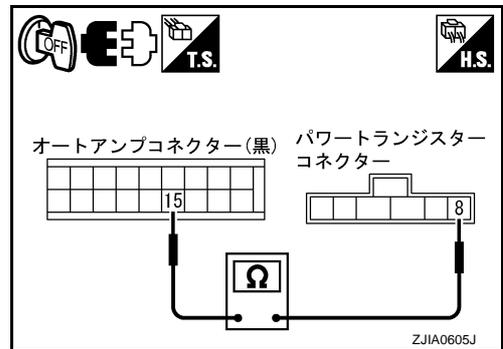
7. 回路導通点検 2

1. キースイッチを OFF にする。
2. パワートランジスタのコネクタを外す。
3. オートアンプのコネクタ (黒) を外す。
4. パワートランジスタ車両側ハーネスコネクタ 8 番端子 ~ オートアンプ車両側ハーネスコネクタ 15 番端子間の導通を点検する。

8 ~ 15 : 導通あり

点検結果

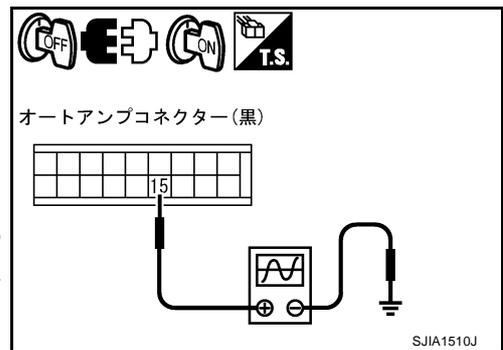
OK パワートランジスタを交換する。
NG ハーネス又はコネクタを修理する。



8. パワートランジスタ制御信号の点検 2

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクタ (黒) を外す。
3. キースイッチを ON にする。
4. オートアンプ車両側ハーネスコネクタ 15 番端子 ~ ボディアース間の出力波形をオシロスコープで点検する。

測定端子		測定条件	出力波形
(+)	(-)		
15	ボディアース	ファンスピード : マニュアル 1 速	



点検結果

OK オートアンプを交換する。
NG パワートランジスタを交換する。

モードドアアクチュエーター系統

JJS004K8

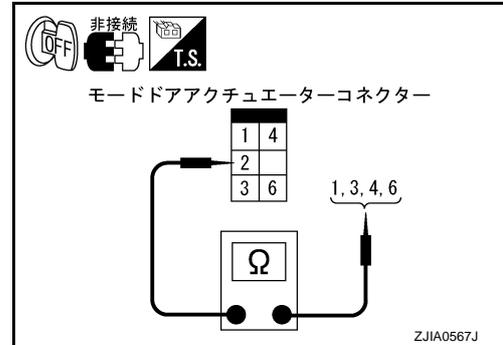
現象

- 吹出口が切り換わらない。
- モードドアアクチュエーターが正常に作動しない。

1. モードドアアクチュエーター点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. モードドアアクチュエーターのコネクターを外す。
3. モードドアアクチュエーターコネクター 2 ~ 1、3、4、6 番端子間の導通を点検する。

2 ~ 1	: 導通あり
2 ~ 3	: 導通あり
2 ~ 4	: 導通あり
2 ~ 6	: 導通あり



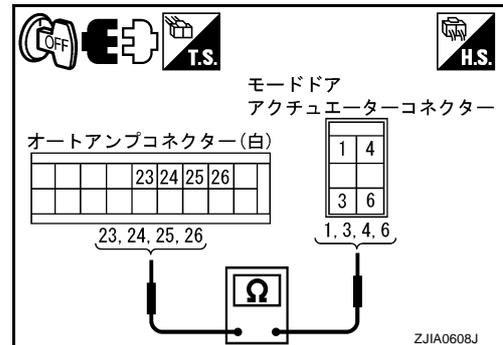
点検結果

OK	2へ
NG	モードドアアクチュエーターを交換する。

2. 回路導通点検 1

1. オートアンプのコネクター (白) を外す。
2. オートアンプ車両側ハーネスコネクター 23、24、25、26 番端子 ~ モードドアアクチュエーター車両側ハーネスコネクター 1、3、4、6 番端子間の導通を点検する。

23 ~ 3	: 導通あり
24 ~ 6	: 導通あり
25 ~ 1	: 導通あり
26 ~ 4	: 導通あり



点検結果

OK	3へ
NG	ハーネス又はコネクターを修理する。

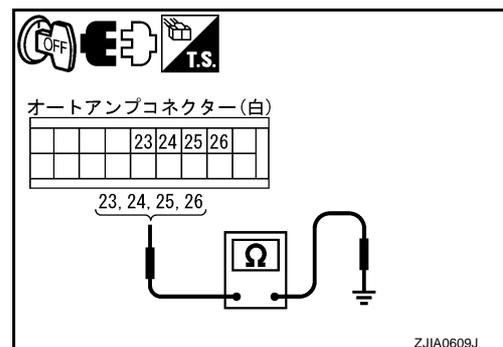
3. 回路導通点検 2

オートアンプ車両側ハーネスコネクター 23、24、25、26 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

23 ~ ボディーアース	: 導通なし
24 ~ ボディーアース	: 導通なし
25 ~ ボディーアース	: 導通なし
26 ~ ボディーアース	: 導通なし

点検結果

OK	オートアンプを交換する。
NG	ハーネス及びコネクターを修理する。



エアミックスドアアクチュエーター系統

JJS004K9

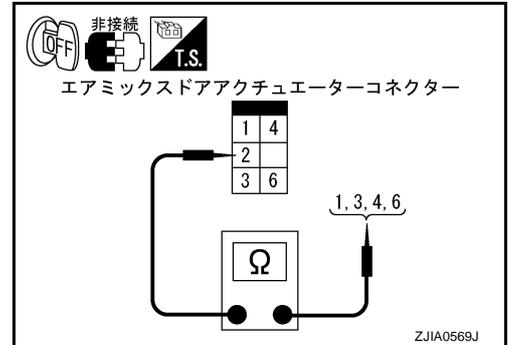
現象

- 吹出風温度が変化しない。
- エアミックスドアアクチュエーターが正常に作動しない。

1. エアミックスドアアクチュエーター点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. エアミックスドアアクチュエーターのコネクターを外す。
3. エアミックスドアアクチュエーターコネクター 2 ~ 1、3、4、6 番端子間の導通を点検する。

- 2 ~ 1 : 導通あり
- 2 ~ 3 : 導通あり
- 2 ~ 4 : 導通あり
- 2 ~ 6 : 導通あり



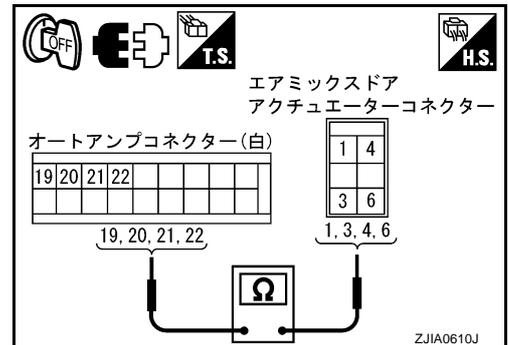
点検結果

- OK 2へ
- NG エアミックスドアアクチュエーターを交換する。

2. 回路導通点検 1

1. オートアンプのコネクター (白) を外す。
2. オートアンプ車両側ハーネスコネクター 19、20、21、22 番端子 ~ エアミックスドアアクチュエーター車両側ハーネスコネクター 1、3、4、6 番端子間の導通を点検する。

- 19 ~ 3 : 導通あり
- 20 ~ 6 : 導通あり
- 21 ~ 1 : 導通あり
- 22 ~ 4 : 導通あり



点検結果

- OK 3へ
- NG ハーネス又はコネクターを修理する。

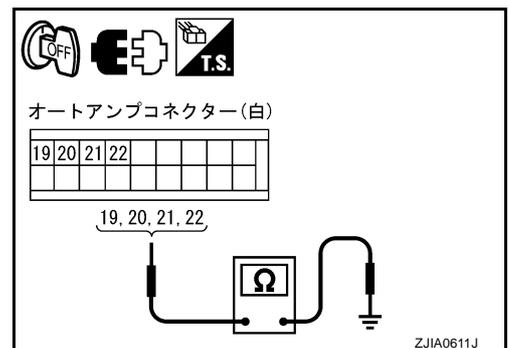
3. 回路導通点検 2

オートアンプ車両側ハーネスコネクター 19、20、21、22 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

- 19 ~ ボディーアース : 導通なし
- 20 ~ ボディーアース : 導通なし
- 21 ~ ボディーアース : 導通なし
- 22 ~ ボディーアース : 導通なし

点検結果

- OK オートアンプを交換する。
- NG ハーネス及びコネクターを修理する。



A

B

C

D

E

F

G

H

I

ATC

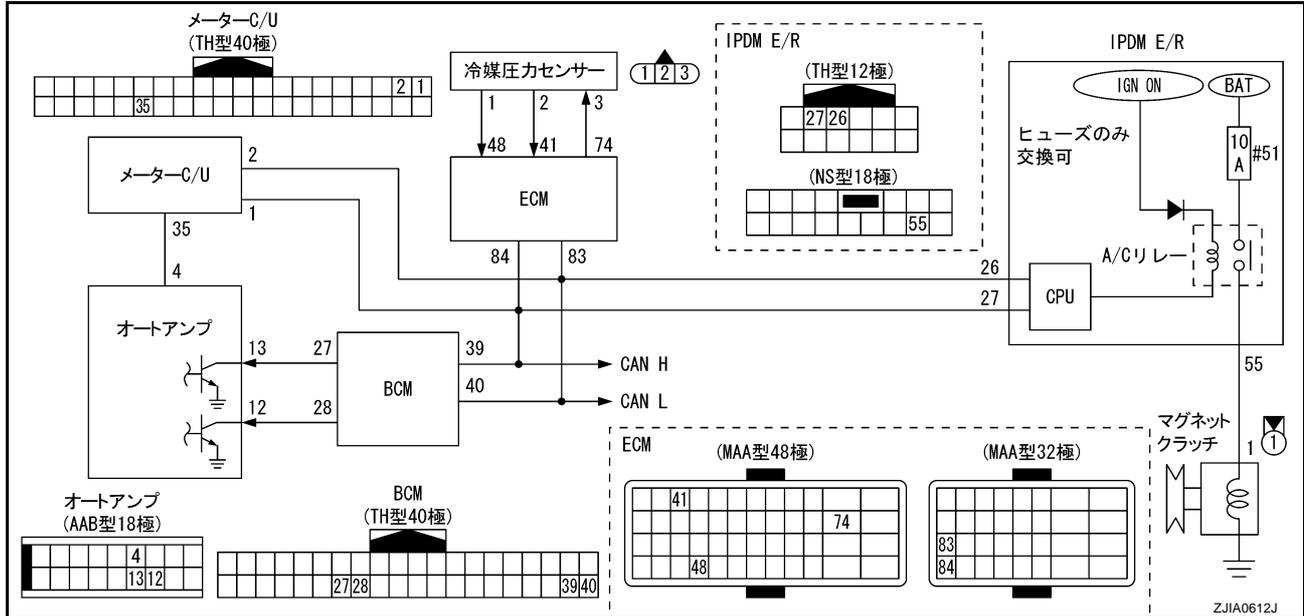
K

L

マグネットクラッチ系統

現象：プロアファンモーター作動時、A/CスイッチをONにしてもマグネットクラッチが作動しない。

回路図



1. 吸込温度センサーの点検

自己診断のステップ2で吸込温度センサーの点検をする。「[自己診断機能](#)」(ATC-25ページ)を参照。

点検結果

- OK 2へ
- NG 点検結果に基づき部品の交換又は修理をする。

2. オートアクティブテストによる点検

オートアクティブテストを行い、マグネットクラッチが作動することを点検する。「PG 電源・アース・回路構成部品」の「[オートアクティブテスト](#)」(PG-36ページ)を参照。

マグネットクラッチの作動

- OK • CONSULT-II を使用する場合：6へ
- CONSULT-II を使用しない場合：7へ
- NG 3へ

3. マグネットクラッチ電圧点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. コンプレッサーのコネクターを外す。
3. エンジンを始動する。
4. AUTO スイッチ及び A/C スイッチを ON にする。
5. コンプレッサー車両側ハーネスコネクター 1 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

1 ~ ボディーアース : 電源電圧

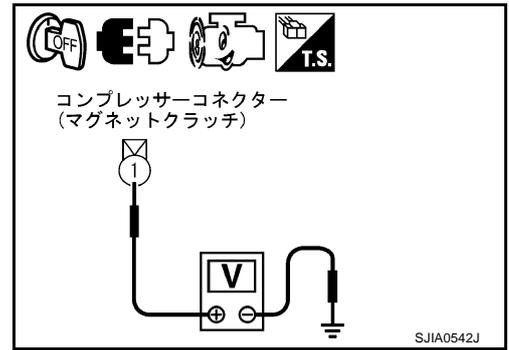
点検結果

OK 5 へ

NG 下記項目を点検し、不具合箇所を修理又は交換後 4 へ。ヒューズが溶断していた場合は、溶断の原因部位を修復後、ヒューズを交換する。

- ヒューズ 10 A (#51) ~ マグネットクラッチ間ハーネス及びコネクター
- ヒューズ 10 A (#51)

注意: ヒューズ位置は、「PG 電源・アース・回路構成部品」の「端子配列」(PG-41ページ)を参照。



4. 回路導通点検 1

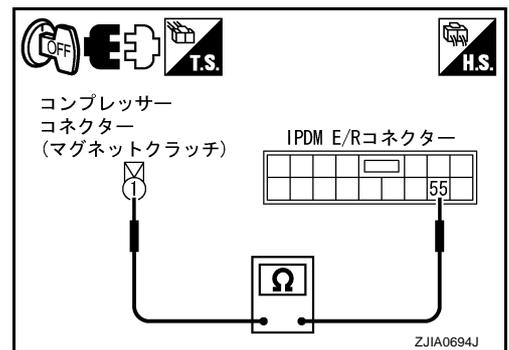
1. キースイッチを OFF にする。
2. IPDM E/R のコネクターを外す。
3. IPDM E/R 車両側ハーネスコネクター 55 番端子 ~ コンプレッサー車両側ハーネスコネクター 1 番端子間の導通を点検する。

55 ~ 1 : 導通あり

点検結果

OK 5 へ

NG ハーネス又はコネクターを修理する。



5. マグネットクラッチの点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. コンプレッサーコネクター 1 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

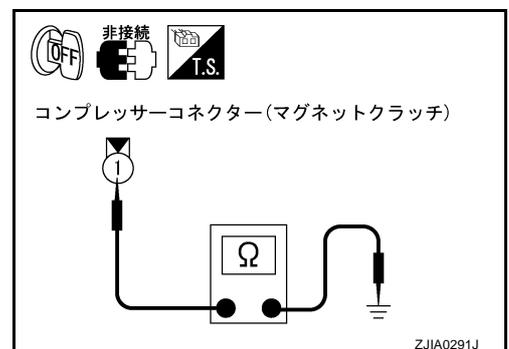
1 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果

OK マグネットクラッチに直接電源電圧を加え、作動を音と目視で確認する。

1. マグネットクラッチが作動しない場合は、マグネットクラッチを交換する。
2. マグネットクラッチが正常に作動する場合は、IPDM E/R を交換する。

NG マグネットクラッチを交換する。



A

B

C

D

E

F

G

H

I

ATC

K

L

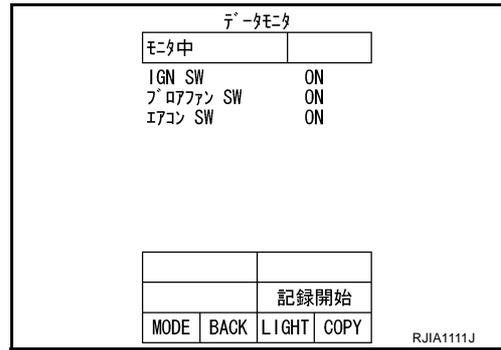
6. BCM 入力信号の点検

“BCM” の “エアコン” を選択し、“データモニタ” でエアコン SW の ON-OFF を点検する。「CONSULT-II の機能」(ATC-11 ページ) を参照。

A/C SW ON : エアコン SW ON
A/C SW OFF : エアコン SW OFF

点検結果

OK 10 へ
NG 7 へ



7. 回路導通点検 2

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクター (黒) を外す。
3. BCM のコネクターを外す。
4. オートアンプ車両側ハーネスコネクター 13 番端子 ~ BCM 車両側ハーネスコネクター 27 番端子間の導通を点検する。

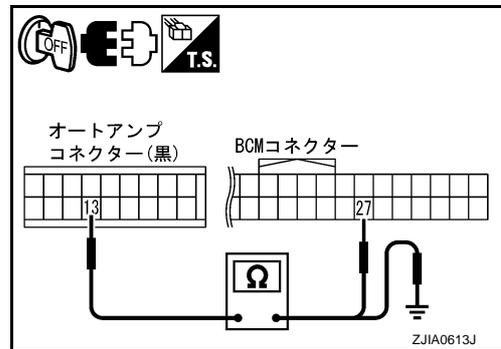
13 ~ 27 : 導通あり

5. オートアンプ車両側ハーネスコネクター 13 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

13 ~ ボディーアース : 導通なし

点検結果

OK 8 へ
NG ハーネス又はコネクターを修理する。



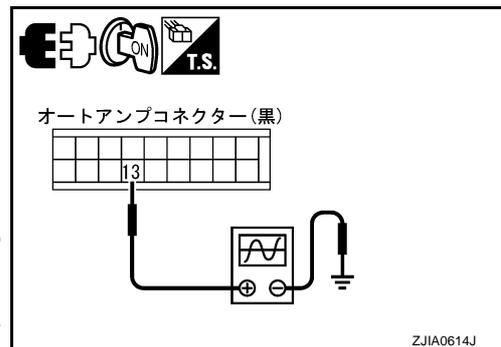
8. コンプレッサー ON 信号の点検

1. BCM のコネクターを接続する。
2. キースイッチを ON にする。
3. AUTO スイッチ及び A/C スイッチを ON にする。
4. オートアンプ車両側ハーネスコネクター 13 番端子 ~ ボディーアース間の出力波形をオシロスコープで点検する。

測定端子		出力波形
(+)	(-)	
13	ボディーアース	

点検結果

OK 9 へ
NG BCM を交換する。



9. 冷媒圧力センサー信号の点検

㊦CONSULT-II を使用する場合

- “エンジン”を選択し“データモニター”で“レイパイアツリョクセンサ”(冷媒圧力センサー)の入力電圧を点検する。[「CONSULT-II データモニター参考値一覧表」\(EC-100 ページ\)](#) (HR15DE 車)又は[「CONSULT-II データモニター参考値一覧表」\(EC-532 ページ\)](#) (MR18DE 車)を参照。

レイパイアツリョクセンサ : 1.0 - 4.0 V

注意: 冷媒圧力が高くなると、上記電圧値も高くなる。

データモニター	
モニタ中	異常なし
エアコン シンゴウ	ON
ヒータ ファンSW	ON
IGN SW	ON
レイパイアツリョクセンサ	1.200 V

記録開始			
MODE	BACK	LIGHT	COPY

R.JIA3646J

㊧CONSULT-II を使用しない場合

- ECM 車両側ハーネスコネクタ 41 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

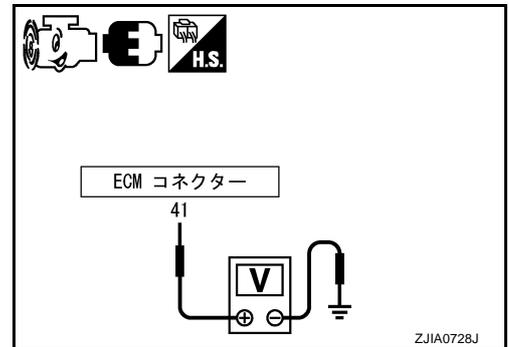
41 ~ ボディーアース : 1.0 - 4.0 V

注意: 冷媒圧力が高くなると、上記電圧値も高くなる。

点検結果

OK 10 へ

NG 「EC エンジンコントロール」の[「冷媒圧力センサ」\(EC-438 ページ\)](#) (HR15DE 車)又は[「冷媒圧力センサ」\(EC-829 ページ\)](#) (MR18DE 車)を参照。



10. CAN 通信回路の点検

BCM ~ ECM 間、及び ECM ~ IPDM E/R 間の CAN 通信を点検する。「BCS ボディーコントロールシステム」の[「CONSULT-II による CAN 通信点検 \(自己診断\)」\(BCS-29 ページ\)](#)を参照。

点検結果

OK ECM を交換する。

NG 診断結果に基づき部品の交換又は修理をする。

ファン ON 信号の点検

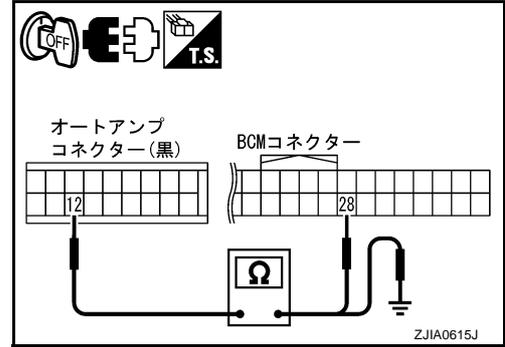
1. 回路導通点検

1. キースイッチを OFF にする。
2. オートアンプのコネクター (黒) を外す。
3. BCM のコネクターを外す。
4. オートアンプ車両側ハーネスコネクター 12 番端子 ~ BCM 車両側ハーネスコネクター 28 番端子間の導通を点検する。

12 ~ 28 : 導通あり

5. オートアンプ車両側ハーネスコネクター 12 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

12 ~ ボディーアース : 導通なし

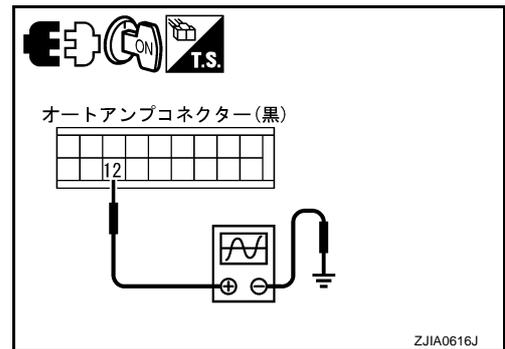
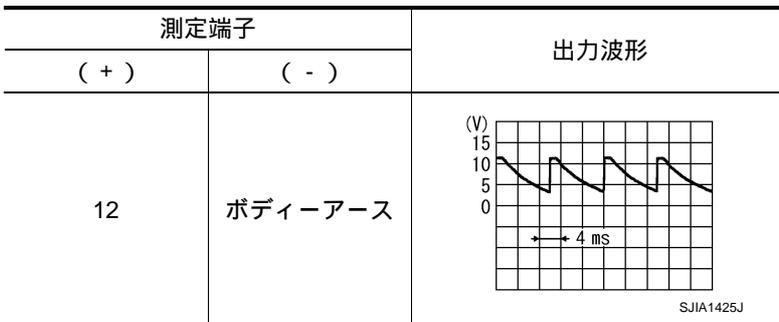


点検結果

- OK 2へ
- NG ハーネス又はコネクターを修理する。

2. ファン ON 信号の点検

1. BCM のコネクターを接続する。
2. キースイッチを ON にする。
3. ファンスピードを1速に操作したときのオートアンプ車両側ハーネスコネクター 12 番端子 ~ ボディーアース間の出力波形をオシロスコープで点検する。



点検結果

- OK オートアンプを交換する。
- NG BCM を交換する。

冷え不良

性能点検

点検要領

1. マニホールドゲージを車両のクーラーサイクル (サービスバルブ) に接続する。
2. エアコンユニットの内気吸込口 (グローブボックス下部) に乾湿度計を、ベンチレーターグリル中央右に乾球温度計を取り付ける。
3. エンジンを暖機する。

故障診断 (ナビゲーションシステム無車)

4. エンジン暖機後、エンジン回転数が規定のアイドル回転数になっていることを確認する。

5. コンプレッサーを作動し、コントローラーを操作して下記条件に合わせる。

ファンスピード : HI
吸込口 : 内気循環
吹出口 : ベンチレーター (VENT)
設定温度 : フルコールド

6. フード及びドアウインドーガラスを全開にし、全ドアを閉める。

7. クーラーサイクルが安定するまで、そのままの状態を保つ (約 10 分間)

8. エンジン回転数をアイドル回転数に保つ。

9. 内気吸込口の温度及び湿度、吹出口の温度、クーラーサイクルの高圧及び低圧圧力を測定し、「外気温度 — 圧力特性」、「吸込温度 — 吹出温度特性」と照合して判定する。

A

B

C

D

E

F

G

H

I

ATC

K

L